

ミノル工業株式会社

【テーマ】 持続可能なインフラマネジメントの実現 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他 ( )

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他 ( )

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他 ( )

30年後を見据えた 新たなインフラメンテナンスの仕組み

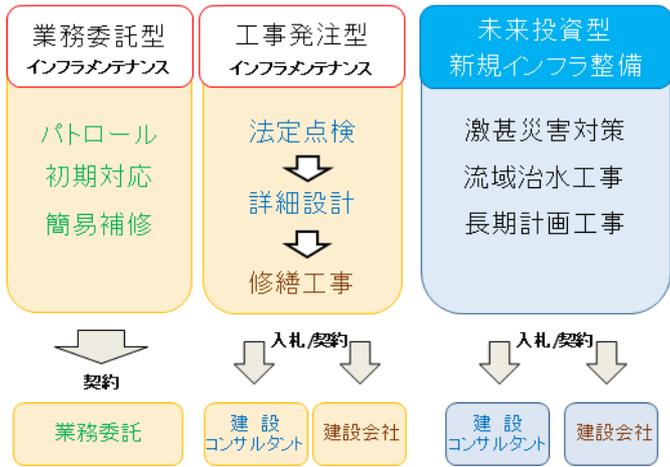
交通インフラの老朽化が加速、現在でも発注者・民間会社共に人材難の中、30年後には42%人口が減る秋田県の現実。現在の仕組みのままでは、インフラ維持が困難な状況が想定される。点検調査-設計-施工-追跡調査までを一元化する組織を造り、新たな仕組みで30年先の交通インフラ維持に対応していく。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

- ・30年後のインフラ維持管理において秋田県で一番懸念される人材問題（人口減少）を解決する新たなインフラメンテナンスの仕組み。
- ・試験的路線（30km程度）を決めて実施。（交通インフラが対象）秋田県・横手市を想定。

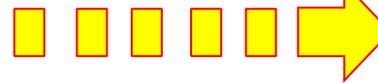
②提案内容

2026年（現在）



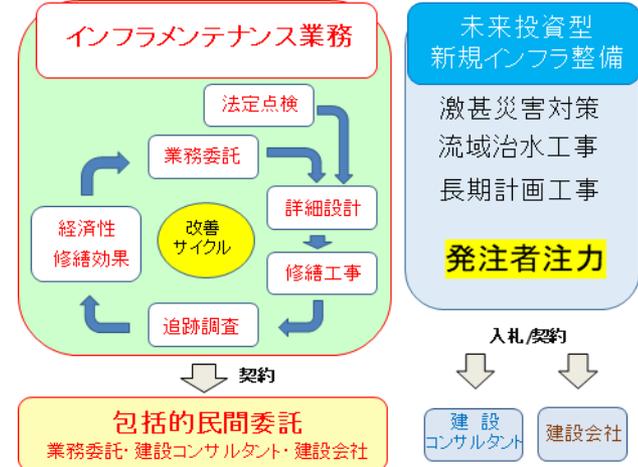
初期対応・点検・設計・施工・追跡調査  
**一元化**  
(包括的民間委託組織)

インフラメンテナンス  
指標構築（地域性）  
産・学・官



初期対応→工事までスピードUP  
民間職員の多能工化  
(調査・設計・施工・維持)  
発注者の業務削減（インフラメンテ分）

新たなインフラメンテナンス



【先進性】  
・前例が乏しい為、試験的に小規模特区（路線）を決め、実験  
してみて 問題点・改善点をさぐっていく。  
建設業**受け身からの脱却**

【有効性】  
・発注契約業務の時間を削減し、初期対応～工事完了(速さ)  
・民間職員の多能工化（能力1人2役（調査と施工））

【汎用性】  
・試験的路線(30km程度)を定めることで、  
試験的な運用がしやすい。